

最優秀賞 勝利の叫び（花岡 勝美 様 / 江別市）



第24回明日萌の里フォトコンテスト入賞作品

優秀賞



みんなが主役（山守 陽一 様 / 旭川市）



萌の丘の春（増井 道英 様 / 苫小牧市）



JR部門 星たちが見守る真布駅 最終便
（敦賀 善敬 様 / 留萌市）

◆奨励賞◆

- 「春待つ沼田の地」龍川 悠平 様（留萌町）
- 「いざ、出陣！」小田嶋 清幸 様（苫小牧市）
- 「秋彩の萌の丘」得能 邦子 様（深川市）
- 「萌の丘の静かな夜」神保 吉数 様（新ひだか町）
- 「星空への訪問者」田澤 康史 様（奈井江町）
- 「米どころを走る」能登 喬也 様（札幌市）
- 「渡り鳥北へ」木村 美紀枝 様（深川市）
- 「花に囲まれて」鈴木 徹 様（湧別町）
- 「光、あふれる」平澤 勇斗 様（美瑛町）
- 「照らす朝陽に春の気配」原 聡彦 様（札幌市）

入選



祭りの担い手
(小田嶋 清幸 様 / 苫小牧市)



宵螢 (龍川 悠平 様 / 留萌市)



夜高太鼓 (花岡 勝美 様 / 江別市)



J R 部門 明日萌に雪深々と
(木村 美紀枝 様 / 深川市)



秋は大忙し (畑部 琴美 様 / 岐阜県安八町)



日の出とホロビリ湖 (山田 勝稔 様 / 砂川市)



J R 部門 彩りの秋 (池端 清美 様 / 留萌市)

審査員講評〔抜粋〕

「明日萌の里フォトコンテスト」受賞者の皆様、大変おめでとうございます。

今回で24回目の開催となった当フォトコンテストですが、今年は3年ぶりに夜高あんどん祭りが開催され活況を呈し、審査用テーブルの色は赤く染まり文字通り沼田町らしい審査会場となりとても嬉しく思いました。応募点数も昨年を上回り、祭りの写真を中心に多様な作品のエントリーがありました。

審査時に少し気になったことは、近年のデジタルカメラを使用すると、以前は至難の業だった被写体も容易に撮影できるようになり、特に星の撮影などは顕著です。最近のコンテストでは、天の川や比較明合成を利用した、いわゆるぐるぐると呼ばれる星景の作品を多く見かけます。同じ星景でも視点を変えた独自の発想が必要な時期のような気がしました。

今回、最優秀賞に選ばれた花岡勝美さんの作品「勝利の叫び」は、山車を担ぐ大勢の人々やそれに登っている人など、スケール感が伝わってきますし、相手の山車に乗り上がっている様子がとても動きがあって迫力が出ています。写真は一瞬を捉えるものなので、祭りの動きや迫力を伝えるのは難しいですが、良く表現されていると思いました。

優秀賞の山守陽一さんの作品「みんなが主役」は、山車をモチーフにした作品ではなく、太鼓を叩く子供達を主題にしています。パチを持って大きく手を上げている様子を、実に可愛らしく表現しています。背景に山車をぼかして入れているところや、ぬまと書いたはっぴも良いですね。

同じく優秀賞の増井道英さんの作品「萌の丘の春」は、春をテーマにした風景写真です。咲き始めたエゾヤマザクラと沼田町らしい田畑が広がり、背景には残雪の山々を配しています。長かった冬からの開放感が伝わってきて、春の喜びを謳歌しているような、爽やかな作品に仕上がっていると思います。

他に入選された5作品、また奨励賞10作品、あるいは鉄道部門も秀作揃いでした。次回はいよいよ25回目のフォトコンテストとなります。更に素晴らしい力作をご期待申し上げます。

2022年10月27日

「明日萌の里フォトコンテスト」審査員代表 写真家 菊地 晴夫